

# 闘って勝つ！

# すべての怒り、すべての闘いを 11月スト体制構築へむけて

# 日刊 労働千葉

85. 11. 2

No. 2080

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二・二二七・〇七

## 非妥協の職場闘争！団交貫徹 11月スト突入宣言国鉄集会へ本社まで

### 10/31第二回拡大支部代表者会議で決定

第二回拡大支部代表者会議が十月三十一日、労働者福祉センターで開催され、いよいよあと一カ月にせまった第一波ストライキ貫徹に向けた諸行動・組織体制の強化などについて意志統一をはかるとともに次のような取り組みを決定した。

「闘って勝つ」をめざし  
強固な意志統一、組織体制の  
強化をかちとろう

情勢の進展は、われわれのストライキ方針の正義性をますます明確に示すとともに、敵の攻撃のすさまじさを示している。

情勢は、①10・9大合理化提案に示されるごとく闘わねば一年後に十万人の過員が生み出され、62年4月1日以降確実に10万人の生首切りが行われる。運転は、このままでは二人に一人がやられる。②雇用安定協約恫喝に示されるように中曽根・杉浦・松崎が野合し、国労・動労千葉の解体をめざしてきている。

③職場規律攻撃に示されるごとく、今日段階ですでに生首切りのための選別が開始されている。④運転保安や安全が一切無視されている。何よりも⑤敵の攻撃は徹底的であり、国鉄労働運動の解体のためには平気で労働者・家族を地獄へ叩きおとそうとしている。⑥従って「なんとかなる」などということは絶対なく、どこに選別されても地獄しかない。われわれの基本的認識は、闘わねば地獄、闘っても敗ければやはり地獄、闘って勝つ以外道はない。ということである。

全組合員がこの認識で意志統一し、あと一カ月、いかなるストライキ圧殺の策動、反動をものりこえ、必ず十一月闘争を貫徹する決意と体制を打ち固めよう。

当面する  
主な取り組み

1. 職場規律攻撃粉碎、団交拒否・形骸化攻撃粉碎、組織強化の闘い。

① 全てを団交で解決することを要求し、団体交渉を強化する。

② 駅助勤者に対し、名札・ネクタイを口実に団交確認の労働条件を反古にする攻撃に対し、あらゆる戦術を行使し、一歩も退かない闘いを展開する。

③ 遮光幕について当局が「理屈抜き」で強制してくるときは「一枚もあけない」を方針化し闘う。

④ 不良職制への追及行動を行う。

⑤ ストへの意志統一、組織強化に向け職場討議資料等を活用し、学習会を開催する。

2. 「五千万人署名」の取り組み

① 十一月末ストまでに「一人百人」達成を目指す。

② 動労千葉としての第一次集約を十月三十一日とし、以後、毎週火曜日と金曜日に本部・支部間で中間集約する。

③ 地域集会の成功をかちとる。

3. 「11・3」団結祭典を成功させる。

4. 「11・17全国鉄労働者総決起集会」の成功に向け、最大限動員で取り組む。

